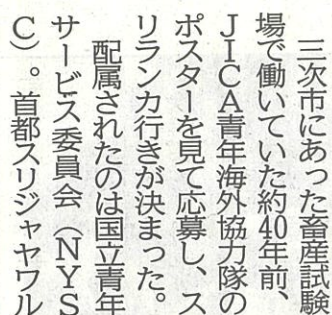




スリランカ
(1984～86年派遣)
田崎和美さん(62)
大阪府吹田市

コースを3期受け持った。
熱帯気候のスリランカで
は、蚊を媒体にして発熱や
頭痛などが起こるデング熱
にかかる人が多い。赴任か
ら1年後、同期隊員のほと

んどがこの病気に苦しめられたが、なぜか私はいかるところがなかった。それどころか、それまでの貧血が改善され、この国の風土に合っているように感じた。

定刻に来る。ご飯に石が入
っていない。日本にいれば
当たり前のことが実はとて
もありがたいことだと実感
できた。

からスリランカの仏教大学
の学生をしている。オシラ
イン授業でブッダの時代の
初期仏教を学んでいる。

若いうちに日本以外の世

だが、スリランカには日本が失いかけている人同士の触れ合いがあった。知らない人でも困っていれば気界を知り、多様な人と交流できたことが、私の人生に大きな影響を与えてくれたのは間違いないようだ。



ベルウツドの教育施設で養鶏の仕方を教える筆者

最初は外国を知らなくて飛び込んだ協力隊だが、現地暮らしを通して知るの日本のことだった。蛇口から出る水をそのまま飲め、バスや電車は続き、今は日本で暮らした。その時の仏教のご縁が、